

年度:2020年 LOM番号:0364

【褒賞申請書】

事業名称	夜空を彩るスカイランタン～心で描く感謝と願いの灯火～
カテゴリー	最優秀LOM地域社会向上プログラム

申請LOM	東北地区山形ブロック公益社団法人寒河江青年会議所
LOMの人数	31名
理事長名	住吉克久
担当者名	佐藤太相
担当者携帯番号	090-5843-4190 担当者Mail dskchiha@yahoo.co.jp
事務局住所	山形県寒河江市丸内 1-2-2
事務局TEL	0237-86-8881 事務局FAX0237-86-8280

本事業の参加者	会員数	27名
	関係者数	15名
	一般参加者数	28名
事業実施に至る背景 400文字程度	物の豊富さに恵まれた環境が、身近にある幸せを当たり前と勘違いして気付いていない現状があります。ごく普通に過ごしがちな子供たちは、物事に対して感謝の気持ちをもつ必要がありと考えました。	
事業目的 400文字程度	未来を担う子供たちが、感謝する意味を知ってもらう事と共に、感謝の意味を知った子供たちが感謝の気持ちを持ってもらう事を目的としました。また、子供たちと一緒に活動する事で、感謝の気持ちを再確認する事を目的としました。	
SDG'sの該当項目	(SDG'sの該当項目を記載) 2: 飢餓をゼロに 4: 質の高い教育をみんなに 6: 安全な水とトイレを世界中に	

--	--

事業概要 400文字程度	今回の事業では、日本の民族宗教である神道の観点から日本人の感謝の気持ちを子どもたちに学んでいただきました。	
開催期間・ タイムスケジュール	2019年8月2日(金) 11:30~20:00	
開催場所	寒河江八幡宮及び八幡公園	
事業区分	新規	
公益・共益区分	公益	
事業総予算・収支	予算計: ¥306,000- 決算計: ¥302,000- 差額: ¥40,000-	
協力団体	後援	寒河江市教育委員会 西川町教育委員会 朝日町教育委員会 大江町教育委員会 河北町教育委員会
事業対象者	寒河江市・西川町・大江町・朝日町・河北町の小学4年生~6年生	

<p>行動 (ACTION TAKEN) 400文字程度</p>	<p>調査：現代を生きる人々は、生活に必要なものは簡単に手に入ることから、まわりの環境に「生かされている」ではなく「自分一人で生きていける」という思い込みをしてしまい、感謝の気持ちを忘れ、自分の利益のみを求めてしまいます。我々の先人達は長年、全てのものに神が宿る、命が宿ると考えそれを尊い敬うことで、日本人のこころである謙虚なこころ、そして他を思いやるといふ感謝の気持ちを育んできました。現代を生きる子ども達にも薄れがちな先人の感謝の気持ちを持ってもらう必要があります。</p> <p>立案：8月に青少年共育事業として寒河江西村山郡の小学校の生徒4・5・6年生を対象に感謝の気持ちを学んでもらう事業を開催することが決定いたしました。</p> <p>会議：2018年2月から委員会開始。調査や研究。</p> <p>事業活動：日本人の原点である「稲」から「食と自然」「祭り」「ご先祖様」に対しての感謝、日本人の感謝する気持ちを寒河江八幡宮宮司による講話、実体験を元に楽しく学んでもらいます。これから大人へと成長していく過程の中で、感謝の気持ちと逞しさ、未来を切り拓く高い志を持った少年へと成長を遂げた彼らの活躍こそが、明るい豊かな社会の実現に繋がることを確信します。</p>
<p>結果 (RESULT)</p>	<p>未来を担う子供たちが、感謝する意味を知ってもらう事と共に、感謝の意味を知った子供たちが感謝の気持ちを持ってもらう事を目的としました。半日という短い時間での事業でしたが子ども達に楽しさだけでなく、学びを与えられた結果になっております。参加者の子ども達の約70%以上の方が今回の事業で「米」「神様」「食べ物」「ご先祖」に対しての感謝を知ることができたという結果が出ており、なおかつ「今後どのように目標を持って行動しますか。」という設問に対してもさまざまなものに感謝する、大切にするといった回答もありましたので今回の目的に対して目的達成できたと考えます。</p>
<p>地域社会への影響 400文字程度</p>	<p>各保護者さんからの意見をまとめた結果、今までよりも食べ物のありがたみを感じ、感謝して食べるようになり、お盆についてよく理解し家族にも話しをしてくるようになった。お盆の馬と牛の話や、ことだま、宮司さんの名前の由来いろんな神様の話が印象深く、何度も話してくれた。毎朝のお参りをしっかりするようになったよです。</p>

<p>LOMへの影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>子供たちと一緒に活動する事で、感謝の気持ちを再確認する事を目的としました。メンバー「今回の体験を通して、感謝の気持ちを再確認する事が出来ましたか？」という設問に対して「再確認できた」と答えた方が100%でした。今回の事業では、子どもだけでなくメンバーも感謝について学べればと考え事業構築しましたが、やはり大泉瑞穂君がおこなった講和をメンバー全員聞いたということが目的達成に大きく繋がったと考えます。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>400文字程度</p>	<p>(この事業が期待される長期的な影響を記入)</p>
<p>考察や推奨</p> <p>400文字程度</p>	<p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p>
<p>改善点</p>	<p>(改善点があれば記入)</p> <p>○夕食時、予定した食材の量を超えてしまった。子どもたちは思っている以上に食べますし、メンバーの方も平均以上に食べることからなつたと考えます。予算を作る上で、難しいですが少々多目に計画する必要があると考えます。</p> <p>○今回、リハーサルを行うことでスカイランタンを飛ばすためのガスや、手水所でのひしゃくが足りないなど想定していないところにかかる物も多くありました。なるべく早くリハーサルを実施し、必要なものを精査し予算を作ることが大切だと考えます。</p> <p>○当日は猛暑であったことから、熱中症の可能性が多いにあったと考えます。各自飲み物は持ってきてもらうようお願いしておりましたが、開会式終了後に飲み物を渡して少しでも熱中症のリスクを抑えるべきだったと考えます。</p>

- 受付が終わったあと、開会まで子ども達が自由に遊んでいた。危険なことをしないように空いているメンバーでしっかり目を見張っておくべきだったと思います。
- 大泉瑞穂君より説明を受けながら神社まで行ったが、声が子どもたちに届いていない部分もありました。スピーカーを準備すべきであったと考えます。
- 神社内で講和を聞く際、飲食禁止を告げており、子どもたちがそのルールを守っているにも関わらず、我々メンバーが飲食を行ってしまいました。我々が子供に伝えていると、もっと自覚を持つ必要があると考えます
- スカイランタンに絵を描く際、消極的な参加者もいましたので、メンバーがそういった部分をカバーしてあげるべきだったと考えます。
- スカイランタンに絵を描く際、参加していないメンバーもいましたので、折角ですので子どもたちと接して欲しかったです。
- スカイランタンを見に来る保護者の方に対しての駐車場計画が甘かった。もっと具体的に停める車の台数等を考慮し計画すべきだったと考えます。
- スカイランタンにヘリウムガスをゴム風船に入れる際、時間がかかってしまった。ぶっつけ本番となってしまうものではあるのですがもっと要領よく行えるように青少年メンバーには伝えておくべきでした。
- スカイランタンにガスを入れた後、勝手に飛ばす子どもたちが多くいた。班にいるメンバーが注意して欲しかったです。
- スカイランタンを飛ばす時間が予定していた時間より長くなってしまった。やはり子どもであるため、スカイランタンの回収にも時間がかかるし、予定していた通りに進まなかった。
- 写真撮影に時間がかかりすぎてしまった。
- 閉会式のアンケート記入が想定より長くかかってしまった。アンケートは非常に重要であるため、なるべく最後まで書かせようと時間を取りましたが、保護者側からすると時間が予定より過ぎていることで不快な思いをさせてしまった。アンケートの取り方は今後考えていく必要があると考えます。
- 上記のように時間通りに進まなかったことを考慮するにタイムキーパーは必要だったと考えます。
- 資料に記載していた地図では集合場所、解散場所が分かりにくいと困っていた保護者がいました。解散場所の地図を詳しくの記載する必要があったと感じました。

JCI活動計画の推進 JCI VISION活動計画の推進 JCI MISSION活動計画の推進	(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)
添付資料 PDF資料2MB、5ページ以内	(事業風景写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)

(AWARDS TOHOKU 2020 申請概要)

青少年共育委員会（会議） 委員長 白田拓也

<キャッチコピー等>

<事業名> 夜空を彩るスカイランタン～心で描く感謝と願いの灯火～

〇〇社団法人〇〇青年会議所は2020年〇月〇日〇曜日に「<夜空を彩るスカイランタン～心で描く感謝と願いの灯火～>」を<寒河江八幡宮及び八幡公園>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<夜空を彩るスカイランタン～心で描く感謝と願いの灯火～>は<今回の事業では、日本の民族宗教である神道の観点から日本人の感謝の気持ちを子どもたちに学んでいただきました。>を目的として開催されました。<未来を担う子供たちが、感謝する意味を知ってもらう事と共に、感謝の意味を知った子供たちが感謝の気持ちを持ってもらう事を目的としました。>半日という短い時間でこの事業でしたが子ども達に楽しさだけでなく、学びを与えられた結果になっております。参加者の子ども達の約70%以上の方が今回の事業で「米」「神様」「食べ物」「ご先祖」に対する感謝を知ることができたという結果が出ており、なおかつ「今後どのように目標を持って行動しますか。」という設問に対してもさまざまなものに感謝する、大切にするといった回答もありましたので今回の目的に対して目的達成できたと考えます>という結果、目的を達成する事ができました。

夜空を彩るスカイランタン～心で描く感謝と願いの灯火～	写真 1
詳細な事業内容 2019年8月2日（金） 11:30～20:00 （事業内内容） 日本人の原点である「稲」から「食と自然」「祭り」「ご先祖様」に対する感謝、日本人の感謝する気持ちを寒河江八幡宮宮司による講話、実体験を元に楽しく学んでもらいます。これから大人へと成長してい	写真 2

く過程の中で、感謝の気持ちと逞しさ、未来を切り拓く高い志を持った少年へと成長を遂げた彼らの活躍こそが、明るい豊かな社会の実現に繋がることを確信します。

写真 3



